

第1節 よこはま人

会社中心ひたすら仕事族



仕事中心の生活をおくっている会社人間。会社と家庭、それに会社帰りに寄る飲み屋の間を往復する毎日である。会社帰りの一杯が何よりの楽しみで、他にはこれといった趣味もない。

衣食住のどれについても無関心で、実質主義ともいえる。たとえば洋服は、無難で値の張らないものならよく、買うときは妻にまかせてしまうこともしばしばだ。

人づきあいはあまり好きではなく、友人は会社関係以外は少ない。近所や親せきとのつきあひも、必要最少限にしている。

行事やしきたりは面倒で、たまの休みは家で寝ていたいというのが本音。運勢などは気にしないし、お守りを捨てることも平気。

一生懸命働いて報われるのだろうかとフツと不安になったりするが、とにかくローンの支払いもあり、がんばろうと思っている。

社 の衣食住

- 衣：服には金をかけない。
自分で探すのは面倒だし、センスに自信もないので妻に選んでもらうことも多い。
- 食：味にはうるさくない。出されたものは何でも食べる。
器などどうでもいい。
- 住：インテリアなどには興味がない。
- 遊：休みの日でも、家族と出かけることはあまりない。
スポーツのサークルに入っているので、運動はする。
- 買：買い物は安い店です。ただ、遠くまで行くということはない。
衝動買いはめったにしない。
- 交：つきあひは、いい方ではない。
特に、親戚や近所とのつきあひはわずらわしい。
- 金：住宅ローンの支払いが残っている。

社 と横浜

- 市政への評価：不満点が多い。特に、公園や道路の整備については、不十分だと感じている。
- 市政への要望：公園・道路の整備をはじめ、交通安全対策や駅周辺整備など、さまざまな面にまだまだ力を入れてほしい。
- 定住意識：たぶん、今の場所から引っ越すことはないと思うが、先のことは分からないという気もする。
- 横浜のイメージ：良いイメージというのはあまりもっていない。
ちょっと軽い感じがする。
- 次代に伝えたい横浜の姿：水と緑と豊かなうおいのある街。

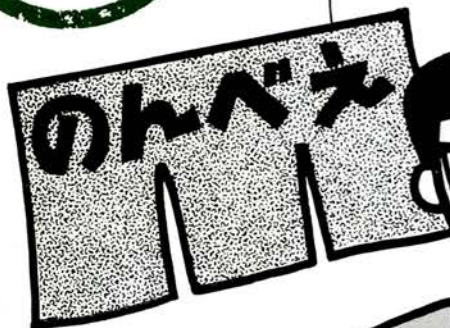
CASE STUDY



毎日、会社と家の往復だが、
帰りに仕事仲間と飲むのが
楽しみ。

フェイスシート

30代男性
妻と子ども1人
サラリーマン 市内通勤
市内在住7年
戸建て 持ち家
横浜線沿線在住



冠婚葬祭はわずらわしい。
縁起をかついだりはしない。

TVはプロ野球や
ゴルフ番組を見る
ぐらい。

たまの休みにはごろ寝
が多いが、ビデオ撮影
やつりもする。



スポーツ新聞や
「フォーカス」も
よく読む。

ローンがかかえているので、
服にはお金をかけない。

近所や親戚とのつき
あいは、必要最少限
にしたい。